

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成26年 6月 30日	
都道府県知事 (市長) 兵庫県知事 殿	
提出者	
住 所 〒668-0272 兵庫県豊岡市出石町鳥居1077 (株)メイワパックス兵庫工場	
氏 名 常務取締役 増田 慎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0796-52-3451	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社 メイワパックス 兵庫工場
事業場の所在地	兵庫県豊岡市出石町鳥居1077
計画期間	平成25年4月1日 から 平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	他に分類されないプラスチック製品加工業[1898] プラスチックフィルム製造業 [1821] 製版業 [1521]
②事業の規模	265億8100万円
③従業員数	株式会社メイワメイワパックス895名 (内 兵庫工場225名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	図1、図2

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別表のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	1820 t	t
	(これまでに実施した取組) ・部門ごとに不良率の低減を目標設定し発生量の低減を図ると同時に廃棄物のリサイクル率を向上させ最終処分量の低減に努めるよう活動している。 ※①環境ISOの活動で毎月情報会議を行っている。 ②再ペレット化による再生利用を促進している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	1810 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状行っている活動を引き続き行う事とする。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、廃油・廃アルカリ、汚泥、それぞれ排出場所で分別して管理している。 ※排出手順は、当社の排出手順書にそって行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・手順書に沿った分別が行われているか監視、・管理を強化する		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別表のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	排 出 量	45 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	排 出 量	45 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 排出場所で分別して管理している。 ・ 排出手順は、当社の排出手順書に沿って行っている。 		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 手順所に沿った管理が行われているか監視. 管理の強化する。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別表のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	25 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	25 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 排出場所で分別管理している。 ・ 排出手順は、当社の排出手順書に沿って行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 手順書に沿った管理が行われているか監視. 管理を強化する		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別表とおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排 出 量	105 t	t
	(これまでに実施した取組) ・材料メーカーに包装紙の簡略化を協力要請をした。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	
	排 出 量	105 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き材料メーカーに包装梱包の簡略化を要請する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の徹底が定着してきて100%がリサイクルされている。 ・排出場所で分別管理を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き分別の徹底を図る。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別表のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	排 出 量	21 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃ウエスの排出をできるだけ抑える為、洗濯ウエスを再利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	排 出 量	21 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状行っている活動を引き続き行うものとする。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 排出場所で分別管理を行っている。 ・ 排出手順は、当社の排出手順に沿って行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 手順所に沿った管理が行われているか監視. 管理を強化する。		

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別表のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排 出 量	15 t	t
	(これまでに実施した取組) ・使用可能な木製パレットなどは、再利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排 出 量	15 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取り組みで行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の徹底が定着してきている。 ・排出場所で分別管理を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き分別の徹底を図る。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	224 t	t
	(これまでに実施した取組) ・再ペレット化を促進する上で分別の徹底を実施している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	225 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・分別をさらに徹底し再生利用を推進させる。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—————	—————
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—————	—————
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	1596 t	45 t
	優良認定処理業者への処理委託量	874 t	t
	再生利用業者への処理委託量	225 t	45 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃プラスチック・・・自社及び委託先への再ペレットによる再生利用を促進している。 ・ 金属くず・・・特になし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	1580 t	45 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	866 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	225 t	45 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラスチックは、分別をさらに徹底し再生利用を徹底させる。 ・ 金属くず・・・特になし 		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	紙くず
	全処理委託量	25 t	105 t
	優良認定処理業者への処理委託量	14 t	t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	105 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥・・・分別の徹底 紙くず・・・分別を徹底し100%がリサイクルされている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	紙くず
	全処理委託量	25 t	105 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	14 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10 t	105 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>汚泥・・・引き続き現状と同じ計画。</p> <p>紙くず・・・引き続き現状と同じ計画。</p>		
※事務処理欄			

(第4面)

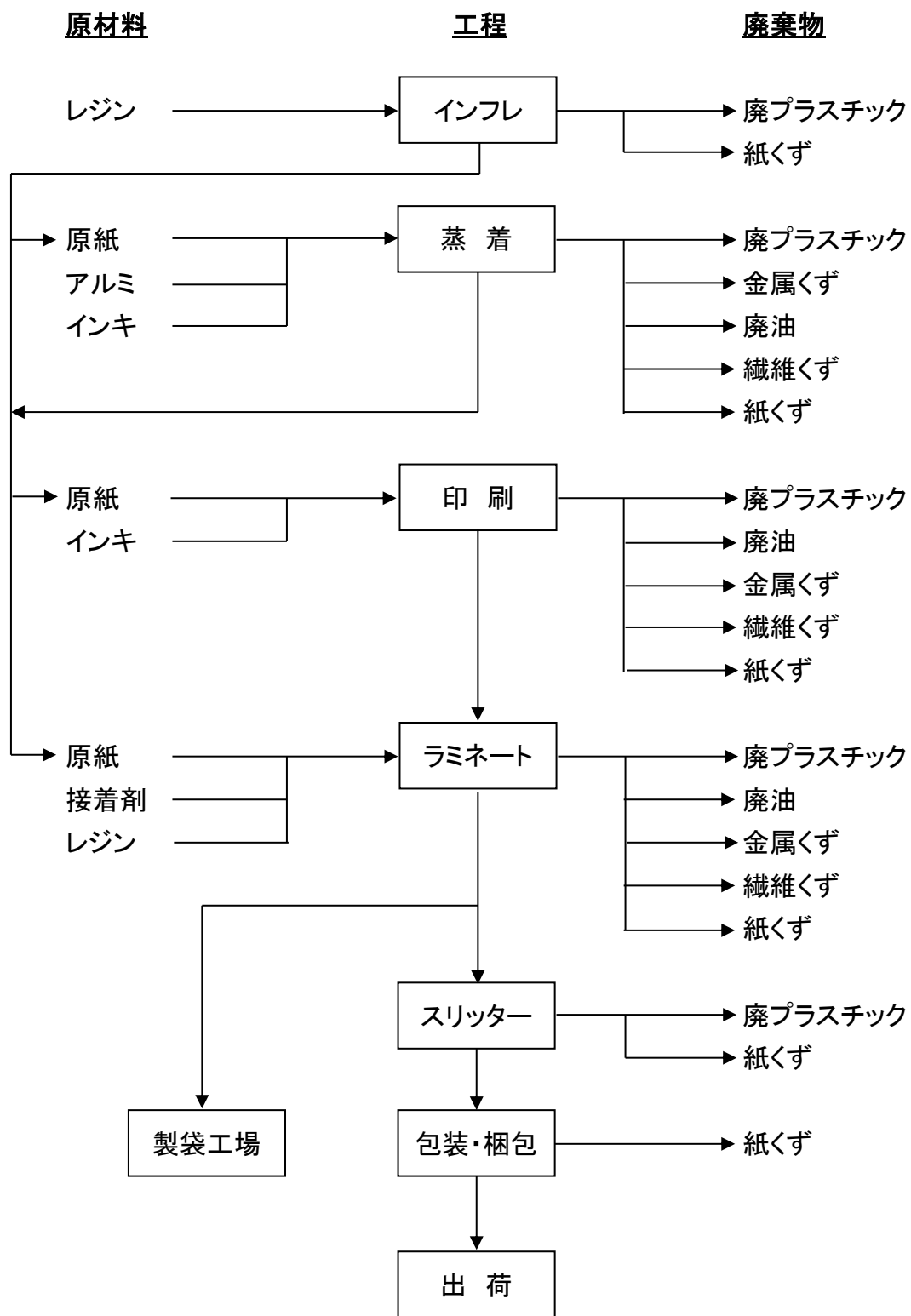
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
	全処理委託量	21 t	15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	21 t	t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	15 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 繊維くず・・・ 廃ウエス等の排出削減のため洗濯再利用を心掛けている。 ・ 木くず・・・ 全てをRPF用原料としてリサイクル業者へ委託している。 			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	木くず
	全処理委託量	21 t	15 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	21 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10 t	15 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繊維くず・・・引き続き現状と同じ計画である。 ・木くず・・・引き続き現状と同じ計画である。 		
※事務処理欄			

備考

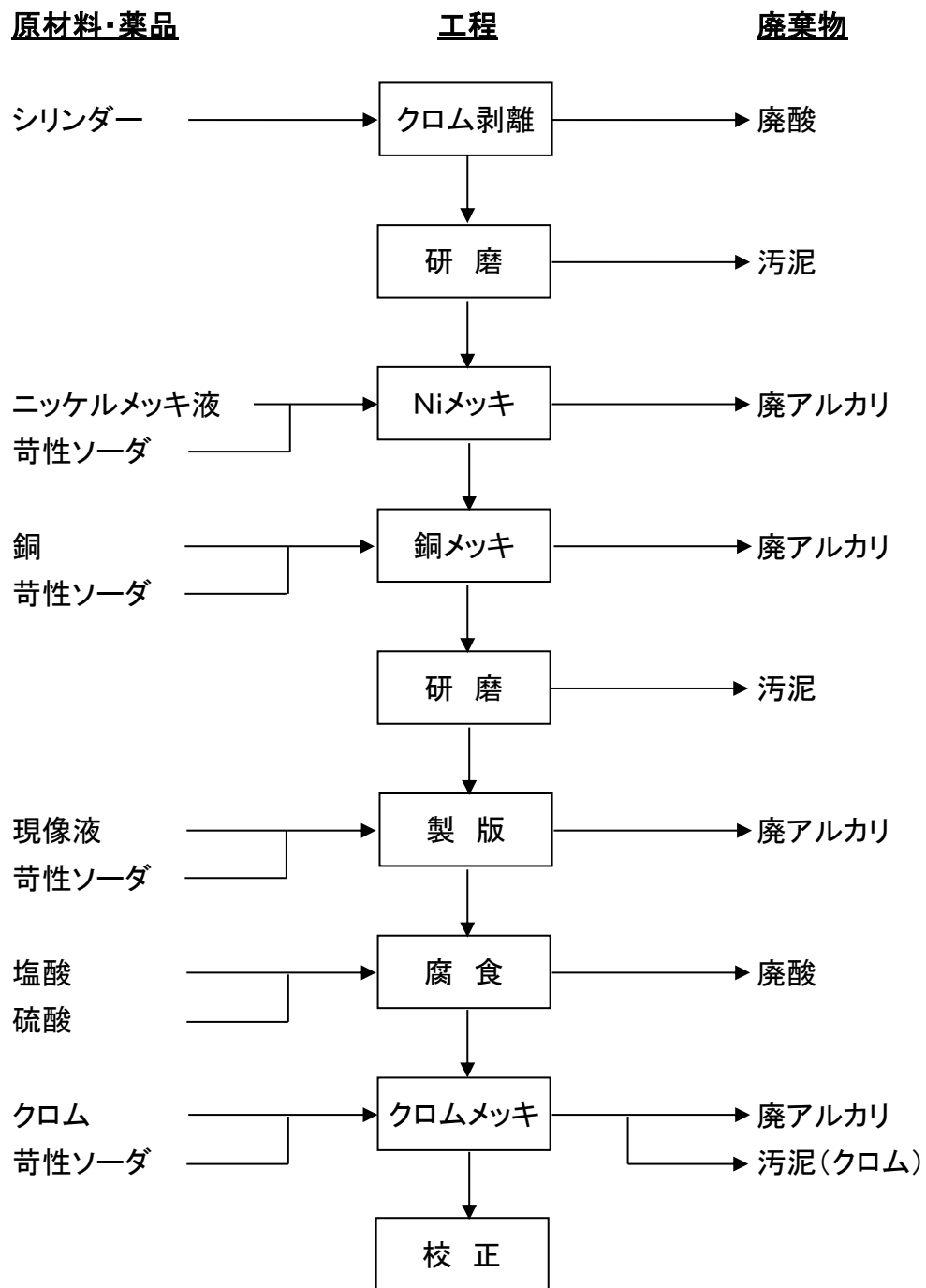
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

図 1 製造等フローシート及び廃棄物発生フロー図
 (印刷、ラミネート、蒸着、インフレ、スリッター)



製造等フローシート及び廃棄物発生フロー図

(製版)



別表

メイワパックス 兵庫工場 環境推進組織表

